

# 事業報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団

公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団  
平成26年度事業報告

I. 事業の状況

1. ナチュラルヒストリーの学術研究に対する助成(定款第4条第1項第1号)公1

ナチュラルヒストリーの分野を動物・非動物の二分野に分け、今年度は動物分野について、全国の大学、研究施設に勤務するか又は日本国内に居住する研究者に対し、研究に必要な資金を助成する。

・平成27年1月19日開催の理事会に於いて、91件の応募の中から、2回の選考委員会によって選ばれた動物学21件、総額1400万円を平成26年度の学術研究助成者として承認し、助成金を贈呈した。

(助成者一覧:別表1参照)

2. 初等中等教育機関におけるナチュラルヒストリーの学習支援、並びに教員の研究活動に必要な実験器材や教材等への補助(定款第4条第1項第2号)公1

平成26年度は各国の日本人学校を含む全国の初等中等教育機関の中で、特に高等学校もしくは高等部における生物の授業に必要な備品を助成する。

・平成27年1月19日開催の理事会に於いて、5件の応募の中から選考委員会によって選ばれた2校(総額1,770,174円)を平成26年度の備品助成校として承認し、助成金を贈呈した。

(助成校一覧:別表2参照)

3. その他目的を達成するために必要な事業(定款第4条第1項第3号)公2

(1)平成26年度シンポジウム

平成26年11月16日ナチュラルヒストリーに関するシンポジウム(テーマ:大地に刻まれた生命の自然史)を国立科学博物館日本館講堂において開催し、4名の講師による下記講演を行い、参加者は100名を超えた。

・磯崎行雄(東京大学総合文化研究科 教授)

「生物大量絶滅と多様化」

・清家弘治(東京大学大気海洋研究所 助教)

「生痕—大地に記録された生物の行動—」

・藤原慎一(名古屋大学博物館 助教)

「骨の形からどこまで分かる? 陸生脊椎動物の前肢姿勢」

・矢部淳(国立科学博物館 研究主幹)

「恐竜はどんな森にいらしていた?—化石から探る日本の植生史」

また、同日開催した高校生ポスター研究発表では17件の高校生によるポスター発表が行われた。  
17件のうち下記のとおり、最優秀賞1校、優秀賞2校を表彰した。

#### 最優秀賞

「わ和輪～培地における麹菌のコロニー形成～」

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校:山本実侑

#### 優秀賞

「アカハライモリの個体識別と個体群の変動」

千葉県立市原八幡高等学校:赤石好、緑川杏莉寿、谷元将貴、西川貴史

「プラナリアにおける新たな条件反射獲得実験」

佐野日本大学高等学校:早川春香、伊藤鋭、山田侑加、京井美遊、室岡功基、江村翼

#### (2)平成26年度フォトコンテスト

今年度から、現行のフォトコンテストとは別に、中学生・高校生を対象に、テーマを決めたフォトコンテストを募集することになり、7月1日から9月30日までを応募期間として、第1回中学生・高校生フォトコンテストが開催された。138件の応募の中から、最優秀賞並びに優秀賞各1名、佳作11名を、11月7日に伊藤元己フォトコンテスト選考委員長の第1回中学生・高校生フォトコンテスト選考経過報告書をもとに、各理事に承認伺いを電子メールにて行い、承認された。

最優秀賞 「空に現れた大地」 水野麻衣さん(上海日本人学校高等部・3年)

優秀賞 「小さい秋見つけた」 千代田創真さん(私立海城高等学校・1年)

佳 作 「雨宿りをする白いクモ」 小林ワタルさん(コロンボ日本人学校・中学3年) 他10作品

また、一般のフォトコンテストは、32件の応募の中から平成27年1月19日開催の理事会に於いて、最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作4名を決定した。

最優秀賞 「曳光子」 Mr.Diego Tavares Vasques

優秀賞 「至福のひとつき」 砂村栄力氏

「捕らえる」 谷口たけ子氏

佳 作 「春なのにまだ寒いなあ」 鈴木圭氏 他3作品

各フォトコンテストの受賞作品及びコメントを、当財団ホームページに掲載した。

## II. 庶務の概要

### ① 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会(総理事数9名、必要出席数5名)

定款第44条により、電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、理事会決議があったものとみなすこととなっております。

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
H26.5.12	1 平成25年度事業報告及び付属明細書承認の件 2 平成25年度収支決算書承認の件 3 平成26年度学術研究助成並びに高等学校備品助成選考委員選任の件 4 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 5 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告 6 (追加提案:中学生高校生フォトコンテストの開催の件)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 全会一致で承認・可決	理事9、監事2
H26.11.7(電磁会議)	1 中学生・高校生フォトコンテスト受賞者決定の件	全会一致で承認・可決	理事9、監事2
H27.1.19	1 平成26年度学術研究助成決定の件 2 平成26年度高等学校備品助成決定の件 3 ウェブサイトに於けるフォトコンテスト受賞者決定の件 4 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告 5 (追加提案:高等学校への備品助成事業計画策定にあたり、アンケートの実施の件)	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承 全会一致で承認・可決	理事9、監事1
H27.3.10	1 平成27年度事業承認の件 2 平成27年度収支予算書承認の件 3 理事・監事候補者選任の件 4 顧問選任の件 5 平成27年度学術研究助成並びに高等学校備品助成選考委員選任の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決	理事8、監事2

#### (2) 評議員会(総評議員数10名、必要出席数6名)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果	出席人数
H26.5.22	1 平成25年度事業報告並びに付属明細書承認の件 2 平成25年度収支決算書及び付属明細書、財産目録承認の件 3 報告事項:理事長及び常務理事より、職務執行状況報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 出席者全員了承	評議員9、理事7、監事2

## (3) 選考委員会(学術助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
H26.6.16	1 選考委員長の選出 2 応募要領及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	樋口広芳氏(慶応義塾大学大学院特任教授)を委員長に選出、申請案件を各選考委員によって3つの評価項目に付きA～Dの評点を記し、総合評価としてA～Dの評点を記した総合評価表を基に、選考委員会に於て最終決定する。
H26.12.8	平成26年度学術研究助成(動物学)候補者選定の件	候補者として21件総額1,400万円を選考した。また、決定後辞退があった場合を考慮し、繰上げ候補者3名を選考した。

## (4) 選考委員会(高等学校備品助成)

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
H26.6.3	1 選考委員長の選出 2 応募要領及び申請書について 3 審査の方法 4 評価の方法	関口伸一氏(海城中学高等学校教諭)を委員長に選出、申請案件を各選考委員によって3つの評価項目の1・2に付き3～1の評点を、3については5～1の評点を、総合評価としてA～Dの評点を記した上で、優先順位を記入した総合評価表を基に最終決定する。 また、事務局より今年度は助成対象を各国の日本人学校高等部まで広げ、助成金額も100万円以下と50万円以下の2通り(併願申請不可)になることが説明され、慎重に審議された結果、可決承認された。
H26.11.4	助成候補校について委員長案提示。	選考委員による、委員長案承認。

## 選考委員(学術助成):6名

学術分野	氏 名	就任年月日	現 職	備考
動物学	委員長 樋口 広芳	H26.5.12	慶応義塾大学大学院 特任教授	選考委員長
〃	委員 藤田 敏彦	〃	国立科学博物館 動物研究部 グループ長	
〃	委員 稲葉 一男	〃	筑波大学 教授	
〃	委員 上島 励	〃	東京大学大学院 准教授	
〃	委員 江口 克之	〃	首都大学東京 准教授	

## 選考委員(備品助成):3名

氏 名	就任年月日	現 職	備考
関口 伸一	H26.5.12	海城中学高等学校 教諭	選考委員長
奥津 憲人	〃	文化学園大学杉並中学・高等学校 教諭	
三堀 春香	〃	東京都立大江戸高等学校 教諭	

## ② 職員に関する事項

(平成27年3月末日現在)

職 名	常勤・非常勤	氏 名	採用年月日	担当事務	備考
職員	常勤	藤原 基美子	S55.9.28	事務局長	

## ③ 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当なし

④ 契約に関する事項

該当なし

⑤ 寄付金に関する事項

該当なし

⑥ 内閣府公益法人(行政担当)への届出

提出年月日	届出内容
H26.4.18	平成24年度 事業報告等の修正提出書
H26.6.27	平成25年度 事業報告書等
H27.3.27	平成27年度 事業計画書等

<附属明細書の作成について>

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。

## 公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団

## 平成26年度(第23回)学術助成一覧表

[動物学] 21名 1,400万円

NO	氏名	研究課題	助成金	備考
1	有山 啓之	南西諸島のヨコエビ類、特に沖縄本島・西表島等の干潟域・河口域に生息するヨコエビ類の分類学的研究	49万円	
2	野田 悟子	シロアリの材食性を担う共生原生生物の系統と木質分解能の関係	67.9万円	
3	唐沢 重考	ダンゴムシにおける球体行動および関連形質の系統進化	49.5万円	
4	山崎 博史	鯰曳動物の系統分類学的研究	70万円	
5	嶋田 大輔	海産自活線虫オンコライムス類のDNA鑑定を用いた種多様性の解明	35.4万円	
6	片山 英里	日本産トビギンポ属魚類の分類学的研究の種分化に関する研究	70万円	
7	平瀬 祥太郎	更新世氷期の日本海の隔離イベントによる沿岸性魚類の平行進化	64.4万円	
8	木村 一貴	軟体動物における武器を用いた繁殖行動の複数回進化に関する研究	77.9万円	
9	児島 庸介	ヤマカガシにおける精液を介した毒の受け渡しの検証	63万円	
10	角井 敬知	汽水性小型甲殻類ネソタナイスの分類学的・生殖生物学的研究	84.5万円	
11	栗田 和紀	複数形質に着目した台湾産シナトカゲの種分類と進化史の解明	52.5万円	
12	依藤 実樹子	ムカデミノウミウシ種群の種分化過程の探索	70万円	
13	佐賀 達矢	なぜ、女王は複数のオスと交尾する？シダクロズメバチ女王の多回交尾の適応的意義の解明	69.2万円	
14	富岡 森理	日本産イトゴカイ類(環形動物門:多毛綱)の系統分類学的研究	35万円	
15	瀬尾 絵理子	深海化学合成生態系で優占する二枚貝類の消化器官の構造と機能およびその進化	84.1万円	
16	田中 正敦	色の違いは種の違い？キタユムシ科ユムシ類の種多様性解明に向けて	70万円	
17	久留島 宏明	ナミヒメクモバチ複合種群を用い隠蔽種による多様性の解明	70万円	
18	山崎 千登勢	数十回にも及ぶ交配でもヤツメウナギは精子枯渇しないのか:乱婚における協力的造巢行動と繁殖成功の関係	93.1万円	
19	古俣 慎也	ナガサキアゲハにおける斑紋多型維持機構の解明:擬態型と非擬態型の適応度は季節変動する	67.5万円	
20	水野 尊文	ブラーミニメクラヘビによるシロアリ頭部切断行動の適応的意義の解明	68.4万円	
21	森井 悠太	捕食が駆動する被食者の表現型分化と種分化のメカニズムの解明	88.6万円	

## 別表 2

公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団  
平成26年度(第23回)  
高等学校備品助成一覧表

高等学校備品助成2校 総額1,770,174円

No.	学校名・氏名	生徒数	品名
1	千葉県立市原八幡高等学校 松田 美和子	1年 240名 2年 71名 3年 100名 4年 0名 クラブ活動その他14名	1.双眼実体顕微鏡 (ケニス) PXD-LED :30台  885,006円  合計(助成額) 885,006円
2	大阪府立千里高等学校 松本 年弘	1年 160名 2年 320名 3年 200名 4年 名 クラブ活動その他 名	1.分光光度計 (GEヘルスケア) 28-9182-04:1台 602,640円 2.遠心分離機 (エッペンドルフ) 5453000038:1台 136,080円 3.トランスイルミネーター (マエストロジェン) SLB-01:1台 53,136円 4.ボルテックスミキサー (LMS) VTX-3000L:1台 17,280円 5.マイクロピペット (LMS) HP-1000:4台 38,016円 6.マイクロピペット (LMS) HP-200:4台 38,016円 合計(助成額) 885,168円